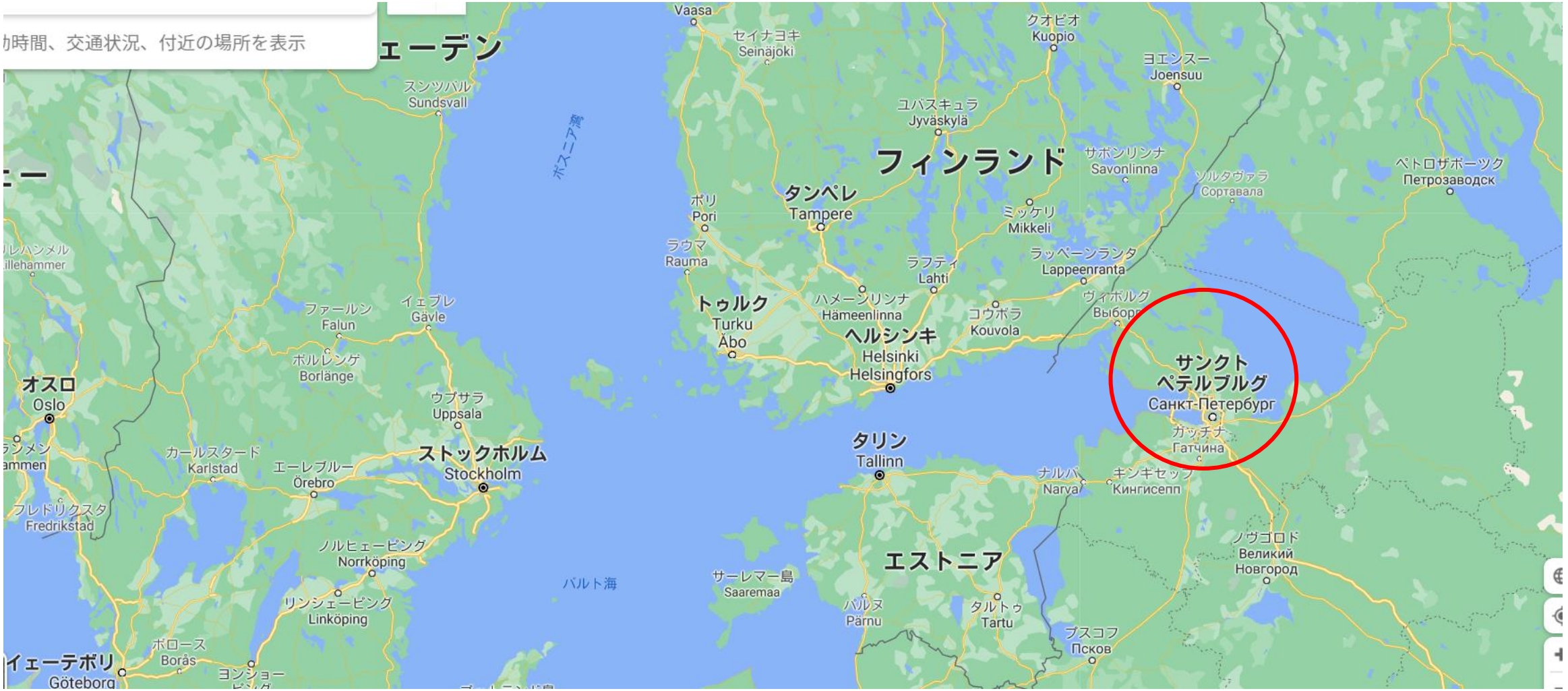
インターネット世界旅行
２０２１/2/２６（金）

サンクトペトロブルグ
ロシア

吉岡　芳夫

本資料は、インターネット上の情報を使って作成しました。

サンクトペテロブルグの位置



サンクトペトロブルグ（ロシア）

- ロシア観光で一番のハイライトとなる街、サンクトペテルブルク。
- ピョートル大帝の時代から都市計画により建設された街はロシアでも類をみない美しさです。
- 街ごとすっぽり世界遺産にも登録されているほど見どころの多い街です。
- サンクトペテルブルクのメインストリート、ネフスキー通りを歩き、世界三大美術館エルミタージュ美術館を訪れ、ネヴァ川に映えるペトロパブロフスク要塞の黄金の尖塔を眺めてみましょう。
- 夏の真夜中に跳ね橋が次々と開いていく光景には思わず拍手です。

サンクトペテルブルクの基本情報

- サンクトペテルブルクは人口500万人(2012年10月現在)を有するロシア第二の都市。
- 広大なロシアの東の端にありバルト海に面しています。
- サンクトペテルブルクは1703年、ピョートル大帝の命により「西洋に開かれた窓」として建設が開始され、その後1914年までロシアの首都として発展してきました。
- 現在は文化・芸術の中心都市としてロシア内で一番多くの観光客が訪れる街でもあります

サンクトペテルブルクの基本情報（続き）

- ロシアの物価は特に大都市部ではかなり高めです。但し、交通費はそれほどでもありません。
- 主な料金ビックマックセット：RUB300(627円)、ビール500ml缶：RUB60(125.4円＊スーパーで購入した場合)、水1.5lペットボトル:RUB42(88円),タクシー初乗り料金：RUB150 (314円)
- 治安面・衛生面など治安は良いとはいえません。モスクワに比べるとましですが、特に観光客を狙ったスリなどの犯罪が多いので気をつけましょう。特
- に人が集まる空港・鉄道駅・地下鉄などでは十分に注意が必要です。衛生面はかなり整ってきていますが、地域によっては問題のあるところもあるので気をつけましょう。
- 食べ物・水ロシア料理は比較的日本人の好みに合うようです。ロシアならではの食材を使った料理も多いのでぜひ試してみてください。
- ただし、水道水は飲めません。必ずミネラルウォーターを購入して飲みましょう。ガス入りの水も多いので苦手な方は購入するときに必ず確認しましょう。

サンクトペトロベルグの名所

1. エルミタージュ美術館
2. 血の上の救世主教会
3. 聖イサアク大聖堂
4. カザン大聖堂
5. ネフスキー大通り
6. トロイツキー大聖堂
7. ペトロパブロフスク要塞
8. ペテルゴフ
9. エカテリーナ宮殿

エミルタージュ美術館

建物自体が世界遺産であり、世界三大美術館の一つ。

ロマノフ王朝の女帝エカテリーナ2世が、1775年に自分専用の隠れ家（エルミタージュ）展示室を建てたのがこの美術館の起源。

その後、歴代のロシア皇帝が美術品を収集し、ロシア革命後は貴族・商人から没収されたコレクションも集められ、冬の宮殿の全体の建物を含めて統合。

総収蔵品は約300万点とされ、ルネサンス期のものから印象派まで、貴重な美術品の数々が展示されている。

ヨルダン階段

エルミタージュを構成するのは、冬宮、小エルミタージュ、旧エルミタージュ、新エルミタージュ、劇場エルミタージュの五つの建物で、19世紀から約百年かかって完成された。

まず冬宮を中心とする王家の各部屋をまわり、宮殿装飾を楽しみましょう。

最初は多の歴史の舞台として登場した大使の階段（ヨルダン階段）だ。

ストレッリにより造られたロシア・バロック建築の極致であり、館内で迷った際の指標にもなる。

冬宮2階での部屋は

孔雀の時計のあるパヴィリオンの間、
謁見に使われた大玉座（聖ゲオルギー）の間、
女神とピョートルが描かれたピョートル大帝の間
銀器の展示室でもある紋章の間、
300人の肖像画がある1812年祖国戦争の間、
美しい孔雀石の間、
ロココ様式の着替えの間（ブドゥアール）、
黄金の客間、ニコライ2世の図書室などだ。

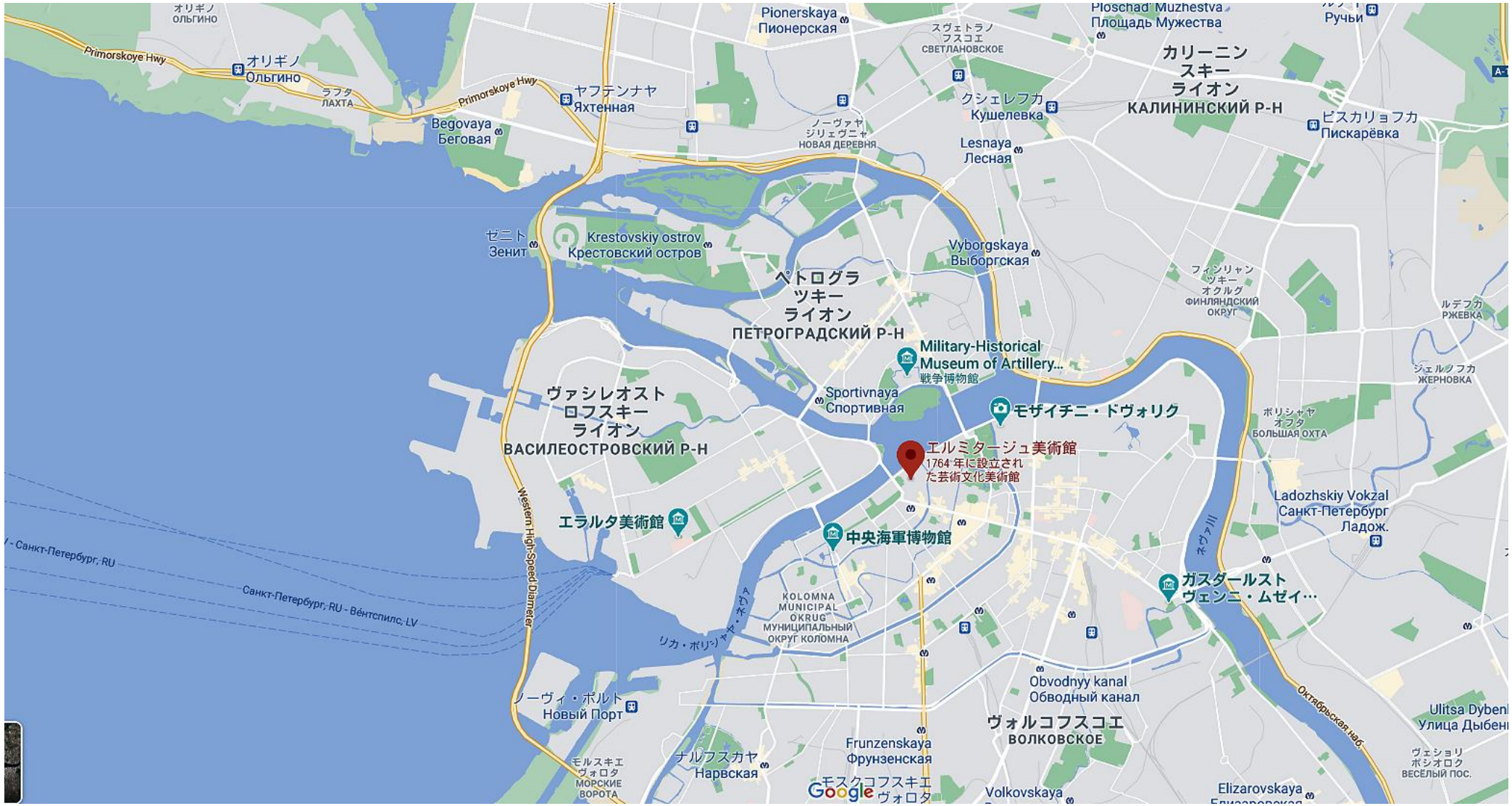
各部屋の家具、装飾小物、天井画、額入り絵画、シャンデリア、モザイクの床などどれをとっても芸術品。

孔雀の時計のあるパヴィリオンの間

これらの冬宮2階のロマノフ王家の部屋とインテリアを見て回るだけでも、半日はかかる。

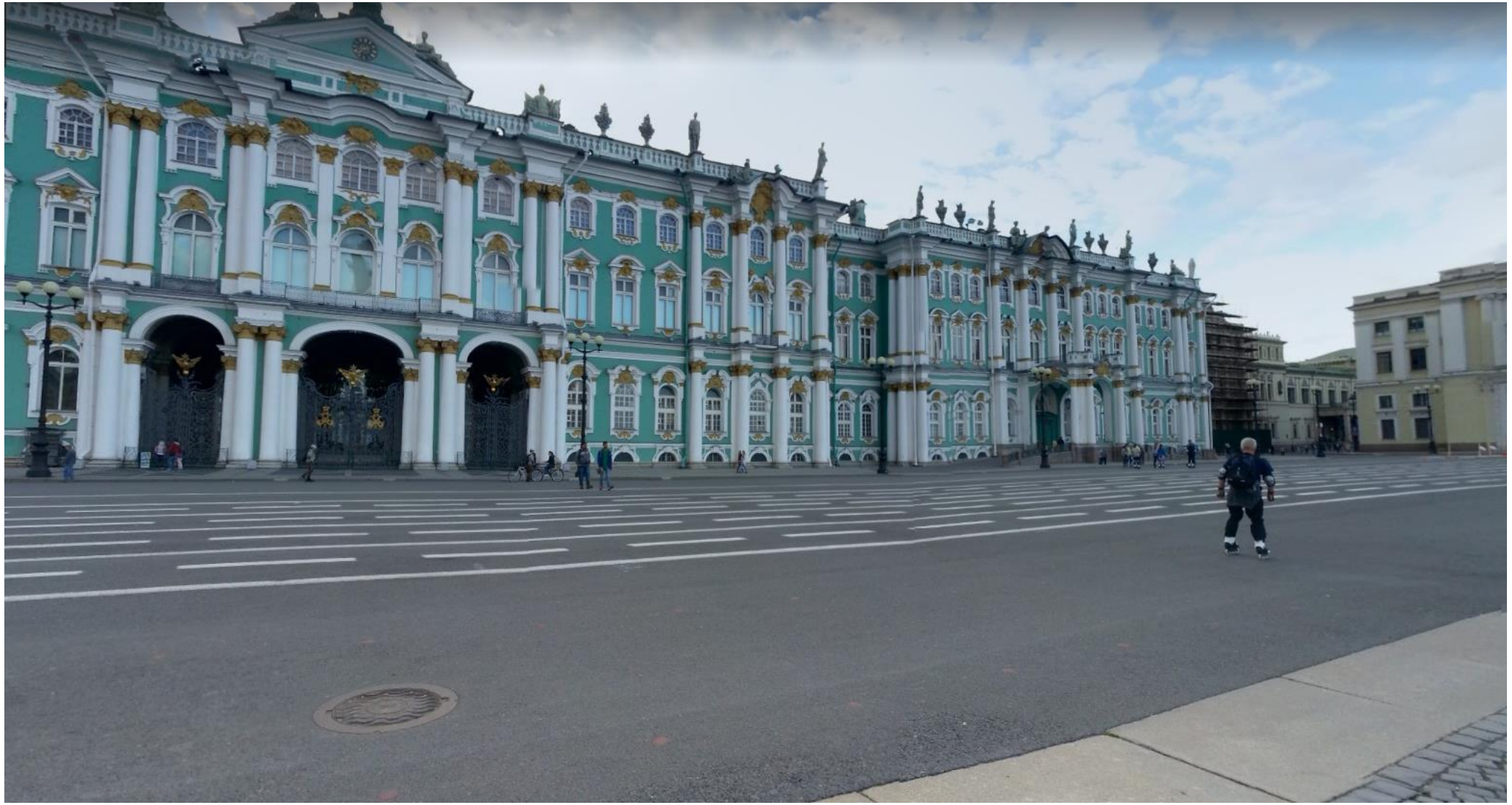
エルミタージュ美術館 - Google マップ

Julián González - Google マップ


Primorskoye Hwy
オリギノ
Ольгино
ラフタ
ЛАХТА
Begovaya
Беговая
ヤフテンナヤ
Яхтенная
Pionerskaya
Пионерская
スヴェトラノフスコエ
СВЕТЛАНОВСКОЕ
Ploschad' Muzhestva
Площадь Мужества
カリーニンスキーライオン
КАЛИНИНСКИЙ Р-Н
クシェレフカ
Кушелевка
ピスカリョフカ
Пискарёвка
ノーヴァヤジリェヴニャ
НОВАЯ ДЕРЕВНЯ
Lesnaya
Лесная
ゼニト
Зенит
Krestovskiy ostrov
Крестовский остров
Vyborgskaya
Выборгская
ペトログラツキーライオン
ПЕТРОГРАДСКИЙ Р-Н
フィンリャンツキーオクルグ
ФИНЛЯНДСКИЙ ОКРУГ
ルデフカ
РЖЕВКА
Military-Historical Museum of Artillery...
戦争博物館
ジェルノフカ
ЖЕРНОВКА
Sportivnaya
Спортивная
モザイチニ・ドヴォリク
ヴァシレオストロフスキーライオン
ВАСИЛЕОСТРОВСКИЙ Р-Н
ボリシャヤオフタ
БОЛЬШАЯ ОХТА
エルミタージュ美術館
1764 年に設立された芸術文化美術館
エラルタ美術館
中央海軍博物館
Ladozhskiy Vokzal
Санкт-Петербург
Ладож.
Western High-Speed Diameter
Санкт-Петербург, RU - Вентспилс, LV
KOLOMNA MUNICIPAL OKRUG
МУНИЦИПАЛЬНЫЙ ОКРУГ КОЛОМНА
ガスダールストヴェンニ・ムゼイ…
Obvodnyy kanal
Обводный канал
ノーヴィ・ポルト
Новый Порт
ヴォルコフスコエ
ВОЛКОВСКОЕ
Frunzenskaya
Фрунзенская
ナルフスカヤ
Нарвская
モルスキエヴォロタ
МОРСКИЕ ВОРОТА
モスクコフスキエヴォロタ
Volkovskaya
Elizarovskaya
Google

ドヴォルツォヴァヤ・プリスタニ
Дворцовая Пристань
Дворцовая наб.
Эрмитажный театр
チブカフェ
ЧБКафе
ジームニ・モスト
Зимний Мост
アトランティ
Атланты
The Pushkin Apartment Museum
Мемориальный музей-квартира А. С...
ドヴォルツォヴァヤ・ナベレジュナヤ
Дворцовая наб
冬宮殿
Зимний дворец
エルミタージュ美術館
1764 年に設立された芸術文化美術館
リヴィ・ドヴォルツォヴォイ・プリスタニ
Львы Дворцовой пристани
St George's Hall and Apollo Room of the...
フラム・ヴォ・イーミャ スヴャチチェリャ…
Храм во имя святителя Спиридона...
宮殿広場
新古典主義の建物が立ち並ぶ広場
Moyka River
ケンピンスキー ホテル モイカ 22
Кемпински
Дворец Михаила Михайловича
画像

Alexandr Anoprikov - Google マップ



Valeria Molkova - Google マップ

エルミタージュ美術館 - Google マップ

エルミタージュ美術館 - Google マップ

エルミタージュ美術館 - Google マップ

エルミタージュ美術館 - Google マップ

エルミタージュ美術館 - Google マップ

エルミタージュ美術館 - Google マップ

イタリア美術のコレクションが有名だ。
中でも一番の人気は、レオナルド・ダ・ヴィンチの『ブノワの聖母』（ベヌアの聖母）と『リッタの聖母』の二作だ。

写真は『ブノワの聖母』で、若き日のレオナルドの最初の聖母子画だ。女性を描いた作品としては最も柔らかい表情で親しみやすい顔立ちをしている。

ラファエロの『コネスタービレの聖母』と『聖家族』も見逃せない。
これら巨匠達の描いた聖母や聖家族の画を見れば、時を超えて、敬虔な気持ちに浸ることができる。

次に有名な作品としては、ティツアーノの『悔悛するマグダラのマリア』と『ダナエ』がある。これらはティツアーノが得意とする女性美あふれる絵画の傑作だ。

エルミタージュ美術館の作品 ＜ＺＩＺＩＶＡＶＡの写真集＞（coocan.jp）

『コネスタービレの聖母』

作者;　ラファエルロ・サンティ　　1502年頃

この作品は、師ペルジーノの下絵に基づいて描かれたもので、聖母は元来下絵同様、本のかわりにざくろ（復活のシンボル）を持っていました。当然ながらペルジーノの作風が支配的ですが、構図の明快さ、背景の繊細さなどラファエロ独自の特質がはっきりと表われています。

『女優アントニア・サーラテの肖像』

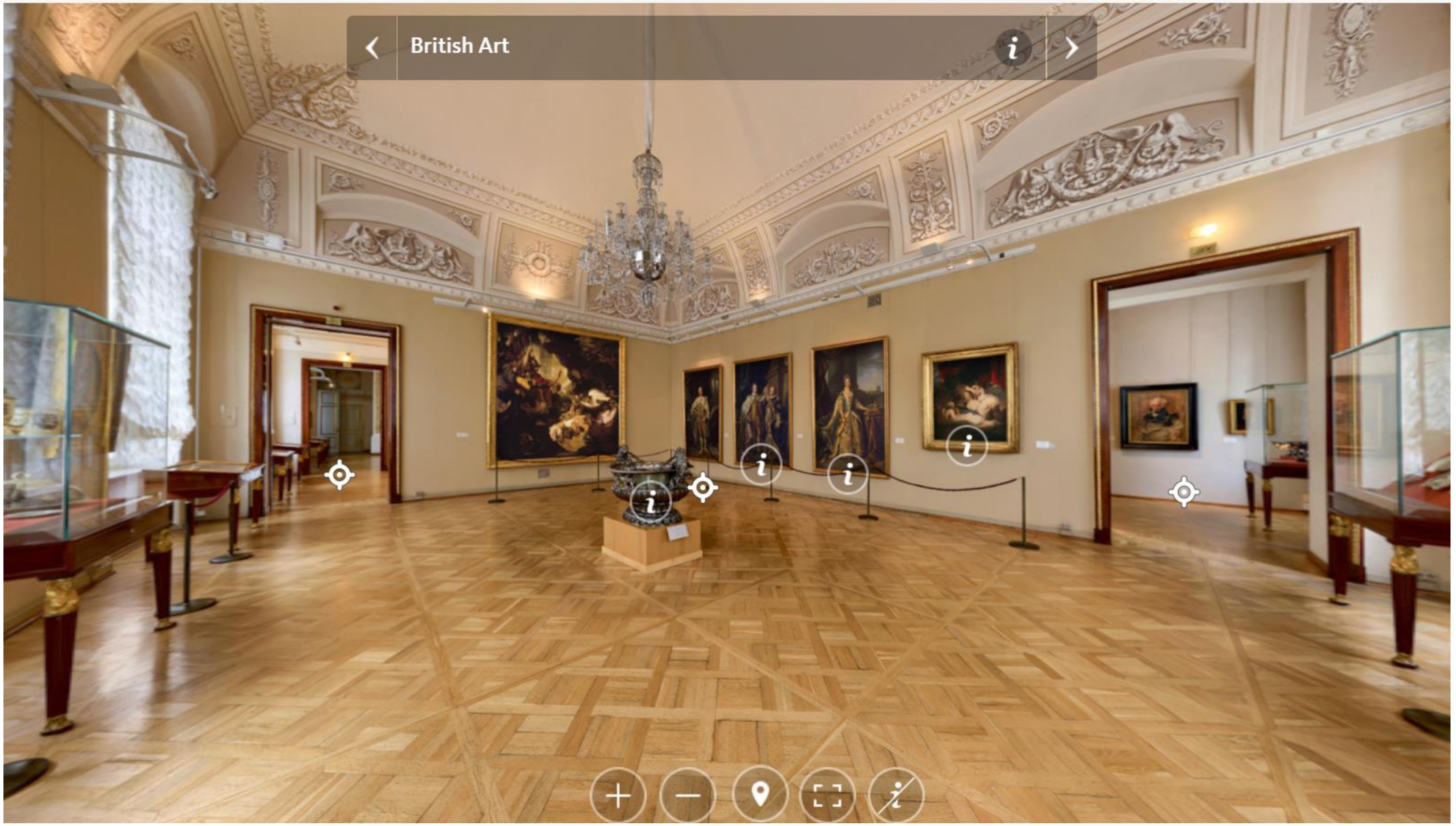
作者;　ゴヤ　　1810-1811年頃

この画のモデル、女優アントニア・サーラテはゴヤと親しかったらしく二度モデルを務めました。ここでは髪に白いボンネットのようなものをかぶり、長いレースの帯を首のところで結び、その端を豊かな胸に垂らしてなかなか粋な姿です。闇を背に際立つその姿は確かな存在感誇り、内からにじむスペイン女らしさが胸を打ちます。頭に三日月の飾りが見えますが、それは狩の女神で純潔の象徴ディアナに擬してポーズをしたのでしょう。

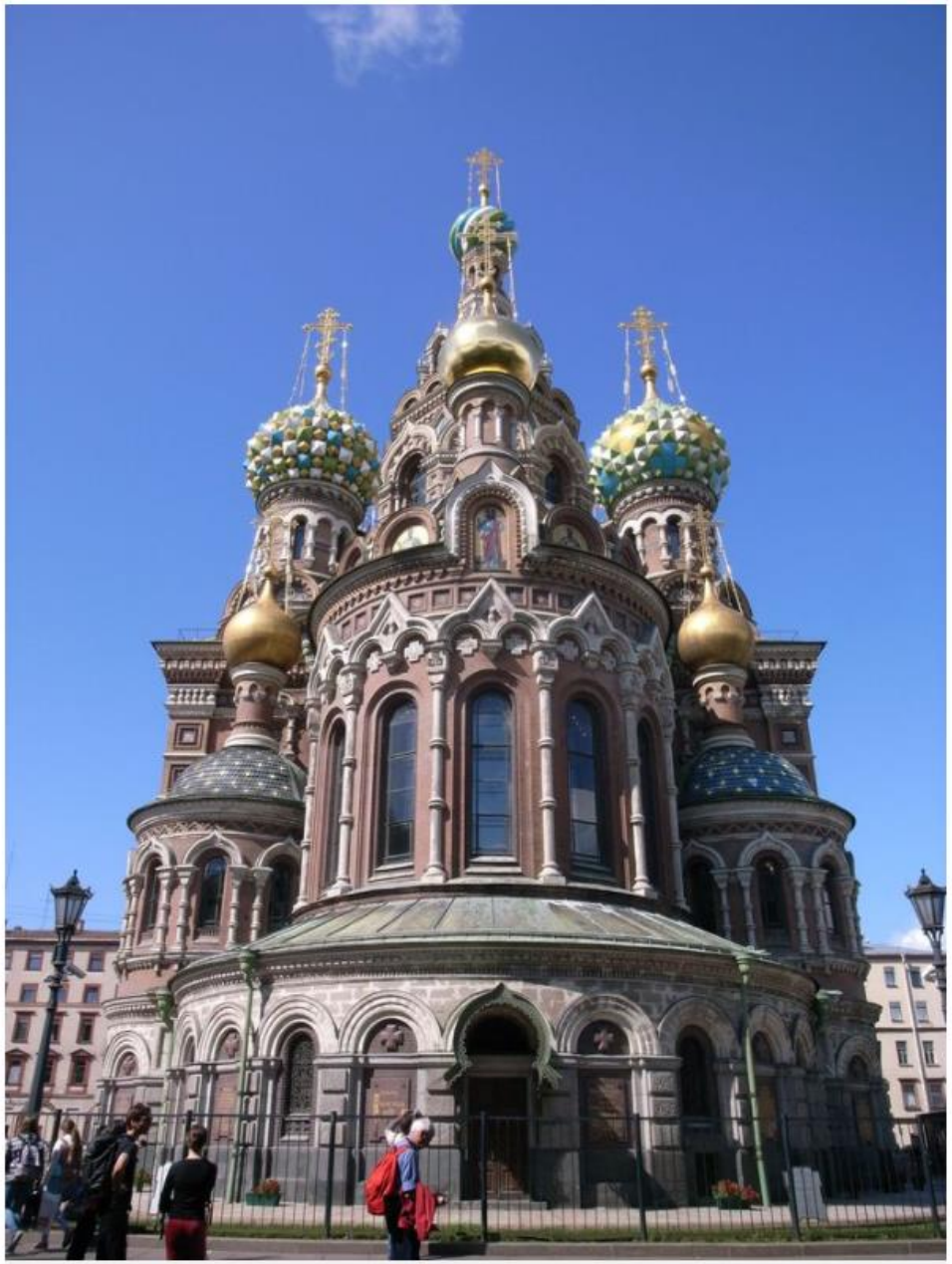
[Virtual Visit (hermitagemuseum.org)]

- ヨルダン階段 (2-1)
- ヨルダン階段 (2-2)
- ヨルダン階段 (2-3)
- ヨルダン階段 (2-4)
- ヨルダン階段 (2-5)
- ヨルダン階段 (2-6)
- ヨルダン階段 (2-7)
- パビリオンホール(204-1)
- パビリオンホール (204-2)
- パビリオンホール (204-3)
- パビリオンホール (204-4)
- パビリオンホール (204-5)
- パビリオンホール (204-6)
- 小さなエルミタージュ間の通路 (205)
- 13世紀から16世紀のイタリアルネッサンス美術館(207-1)
- 13世紀から16世紀のイタリアルネッサンス美術館(207-2)
- 13世紀から16世紀のイタリアルネッサンス美術館(207-3)
- 14世紀と15世紀のイタリアルネッサンス美術館 (208)
- 15世紀イタリアルネサンス美術館 (209)
- 15世紀イタリアルネサンス美術館 (210)
- 15世紀イタリアルネサンス美術館 (211)
- 15世紀と16世紀初頭のイタリアルネッサンス美術館 (212)
- 15世紀イタリアルネサンス美術館 (213)
- レオナルド・ダ・ヴィンチ・ホール (214-1)
- レオナルド・ダ・ヴィンチ・ホール (214-2)
- Leonardo da Vinci Hall (214-3)
- レオナルド・ダ・ヴィンチのホール (215)
- 16世紀イタリアルネッサンス美術館(216-1)
- 18世紀フランス美術(284-3)
- 18世紀フランス美術(284-4)
- 18世紀フランス美術(284-5)
- 18世紀フランス美術(284-6)
- 18世紀フランス美術(285-1)
- 18世紀フランス美術(285-2)
- 18世紀フランス美術(285-3)
- 18世紀フランス美術(285-4)
- 18世紀フランス美術(285-5)
- 18世紀フランス美術(285-6)
- 18世紀フランス美術(285-7)
- 18世紀フランス美術(285-8)
- 18世紀フランス美術(286-1)
- 18世紀フランス美術(286-2)
- 18世紀フランス美術(287-1)
- 18世紀フランス美術(287-2)
- 18世紀フランス美術(287-3)
- 18世紀フランス美術 (288)
- 17世紀フランス装飾芸術・応用美術 (290)
- 17世紀フランス装飾芸術・応用美術 (291)
- 17世紀フランス装飾芸術・応用美術 (292)
- 17世紀後半から18世紀中期にかけてのフランスの装飾芸術
- 18世紀フランス装飾芸術・応用美術(294-1)
- 18世紀フランス装飾芸術・応用美術(294-2)
- 18世紀フランス装飾芸術・応用美術 (295)
- 18th Century French Decorative and Applied Art (296-1)
- 18th Century French Decorative and Applied Art (296-2)
- 18th Century French Decorative and Applied Art (297)

[British Art (hermitagemuseum.org)]



2．血の上の救世主教会



息をのむ荘厳美！サンクトペテルブルグの聖堂

玉ねぎ型のクーポラが特徴の「血の上の救世主教会（Ｘｒａｍ Ｓｐａｓａ ｎａ Ｋｒｏｖи）」。

1881年、当時のロシア皇帝アレクサンドル２世がこの場所で爆弾テロに遭い、暗殺された。

聖堂は皇帝の死を悼み、事件現場の上に建てられたため、こう呼ばれている。

外観はモスクワの赤の広場に建つワシリー寺院に似た、ロシアの伝統的な教会様式。そしてなんと言ってもこの教会の見どころは、モザイクタイルのイコン画で埋め尽くされた豪華な内装！

壁から柱、天井の全てを埋め尽くすその光景は、ロシア装飾建築の最高傑作とも称されるのも納得です

堂内の精密なモザイク画は必見

地図を見る

教会の内部は、多数のイコンや絵画、装飾文様で埋めつくされている。

壁画のように見えのはすべてモザイク画。下絵は当時の一流画家たちによるもので、その総面積は7000平方メートル以上もあるのだとか。

鮮やかなブルーの地に微妙な陰影をつけて、写実的にあらわされた見事なモザイク画。規模の大きさ、色の鮮やかさ、そして精緻を極めたその技術にはただただ驚嘆するばかり。ロシア装飾建築の最高傑作とも称される。

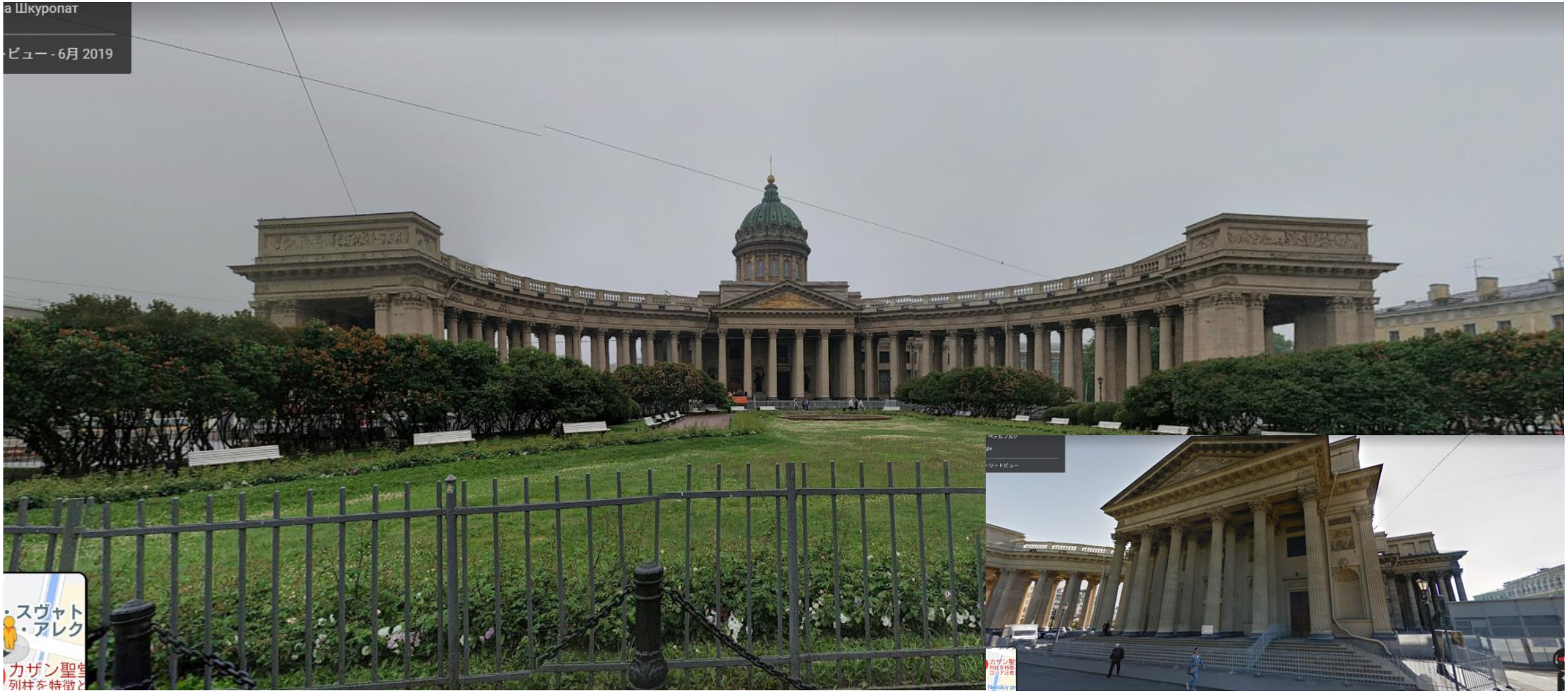
堂内の運河寄りの一段低くなった部分は、アレクサンドル２世が爆弾を投げつけられた歩道。聖堂建設のきっかけとなった事件現場の歩道の敷石と鉄製の手すりが、当時のままの形で再生保存されてる。

巨費を投じて作られ、ロシア工芸技術の最高傑作ともいわれる教会だったが、あらゆる宗教が否定されたソ連時代には、倉庫として使われたり、交通に障害になるとして爆破計画もあったのだとか。聖堂の一角には、現在のように公開されるまでの修復過程を紹介する展示スペースがある。

カザン聖堂

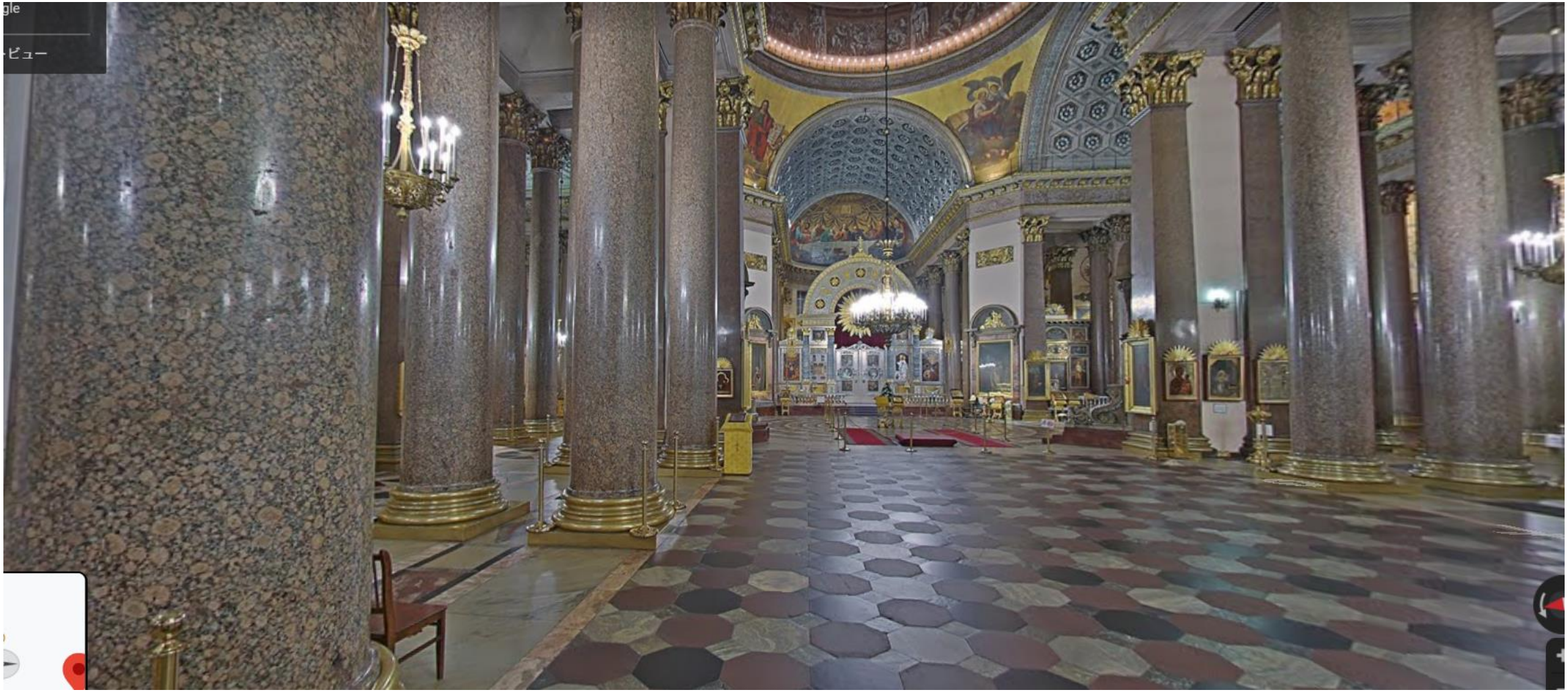
- 息をのむ荘厳美！サンクトペテルブルグの聖堂
- カザン聖堂は、サンクトペテルブルクにおけるロシア正教の中心。
- サンクトペテルブルクのメインストリート、ネフスキー大通りに面しています。
- 両翼に広がる柱が印象的な外観は、ヴァチカンのサン・ピエトロ大聖堂を模したもの。
- 19世紀初め、聖堂の建設を命じた皇帝パーヴェル1世の希望により、このようなデザインになったのだそう。
- 聖堂ではほぼ毎日ミサが行われていて、その様子は誰でも見学することができます。
- 司教の低い、それでいて歌うような祈りの声と、まるで天使のような聖歌隊の歌声が交互に響き合い、堂内は荘厳な雰囲気に包まれます。

カザン聖堂



カザン聖堂 - Google マップ

[カザン聖堂 - Google マップ]



超豪華！ピョートル大帝創建の「イサク聖堂」

地図を見る

イサク聖堂は17世紀の創建。サンクトペテルブルグの街を築いたピョートル大帝が、自身の誕生日の聖人、聖イサクに捧げるために聖堂を建てたのが始まり。

現在の建物は４代目、19世紀前半に40年の歳月をかけて建設したもので、その規模、豪華さともにヨーロッパでも屈指の大聖堂だ。

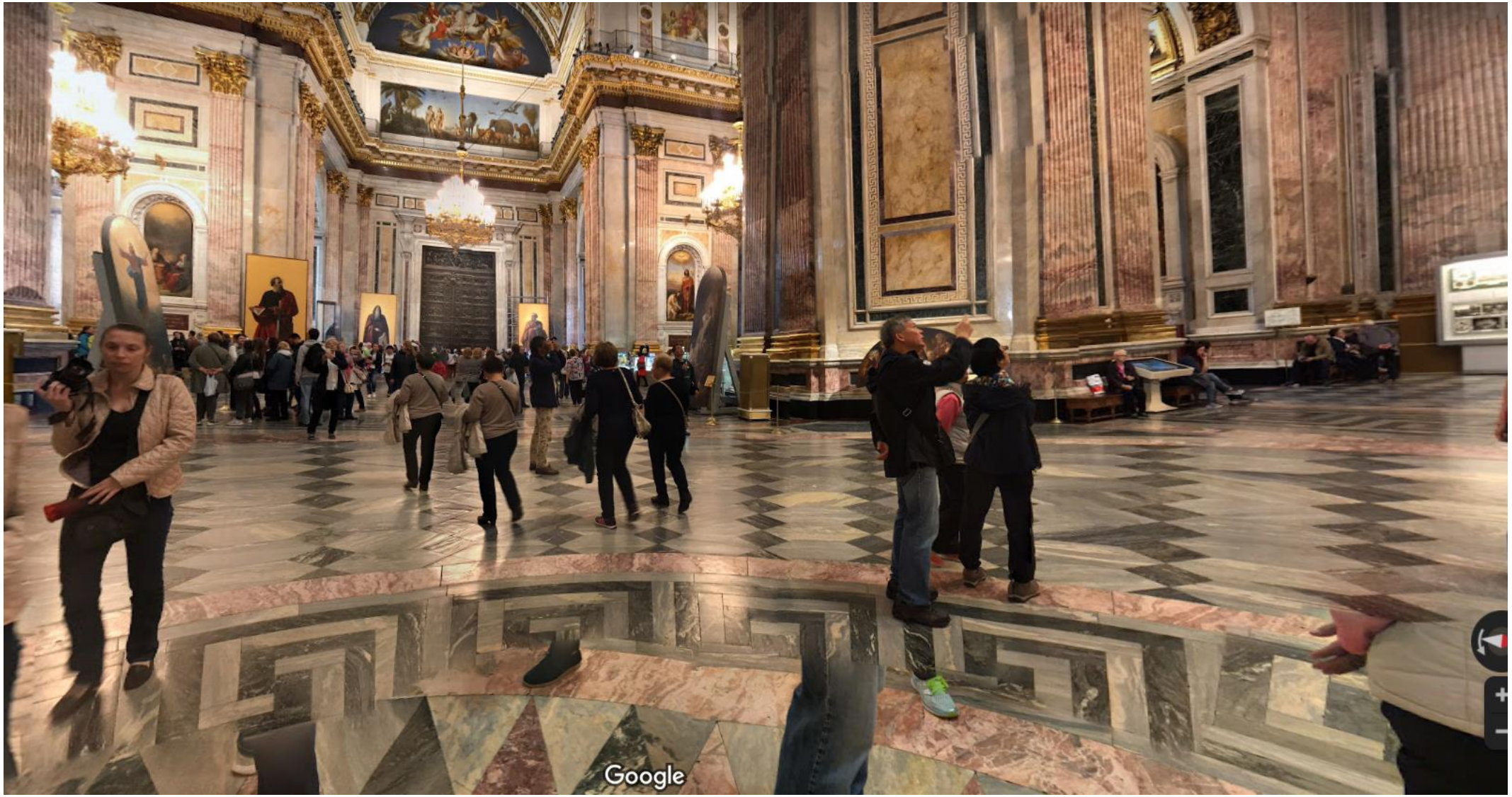
大理石や花崗岩をふんだんに使った壮大な建物を支えるのは、48本の巨大な柱。柱はなんと継ぎ目のない１枚岩から作られていて、直径1.8m、高さ17m、重さなんと114トンもある。

しかし、サンクトペテルブルグはもともと湿地の上に建てられた街。軟弱な地盤の上に大理石や花崗岩をふんだんに使った建物を建てるため、２万本以上の杭を打ち込み、その上に石の土台を築いた。

この堅固な土台のおかげで、建造から150年以上もたった現在でも建物のくるいはまったくないとのこと。

colin foo - Google マップ

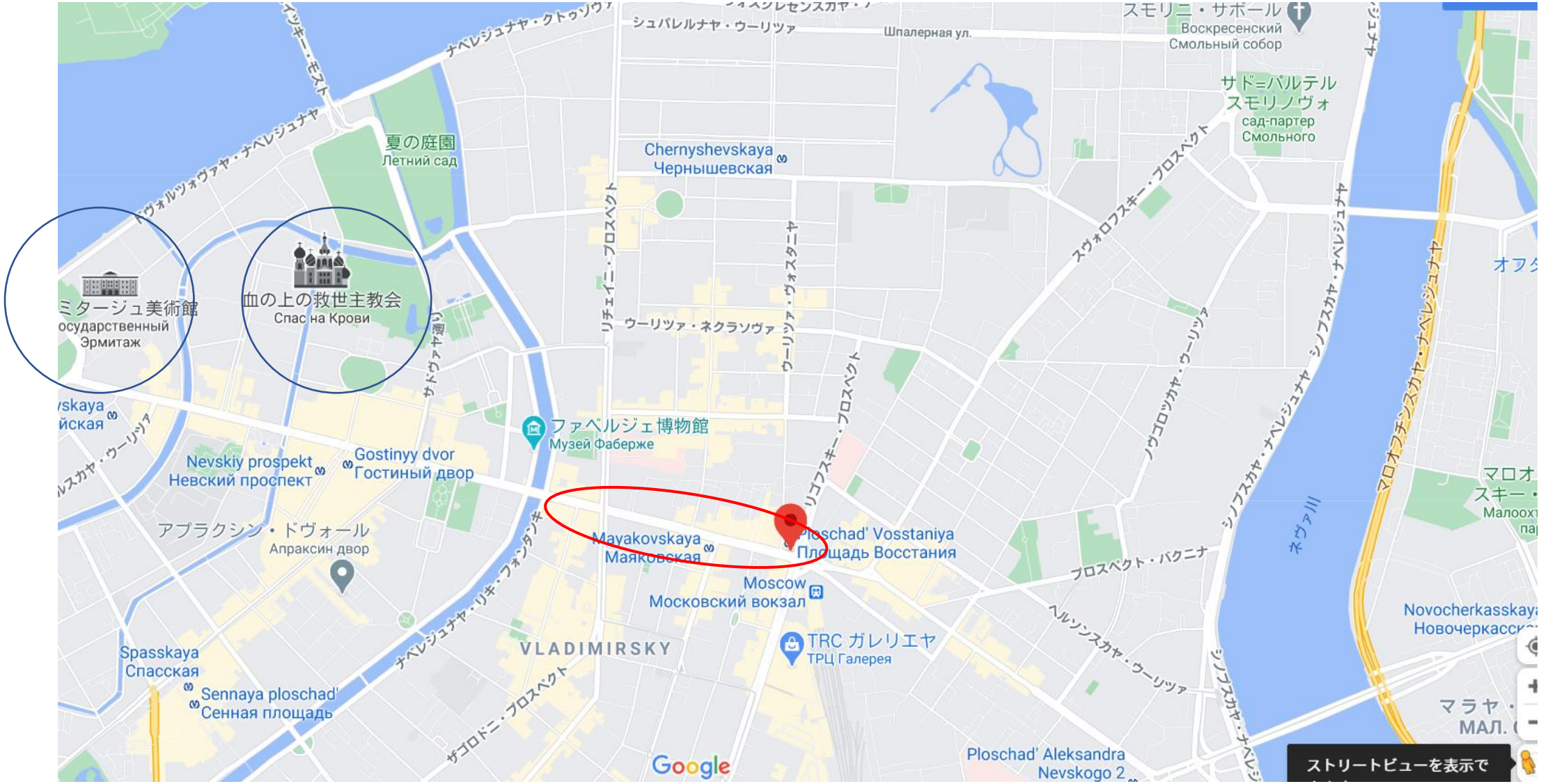
天井が見事



- 聖堂の内部は精巧なモザイクや大理石、青い天藍石や緑の孔雀石で飾られている。もはや言葉を失ってしまうほどの圧倒的な豪華さだ。

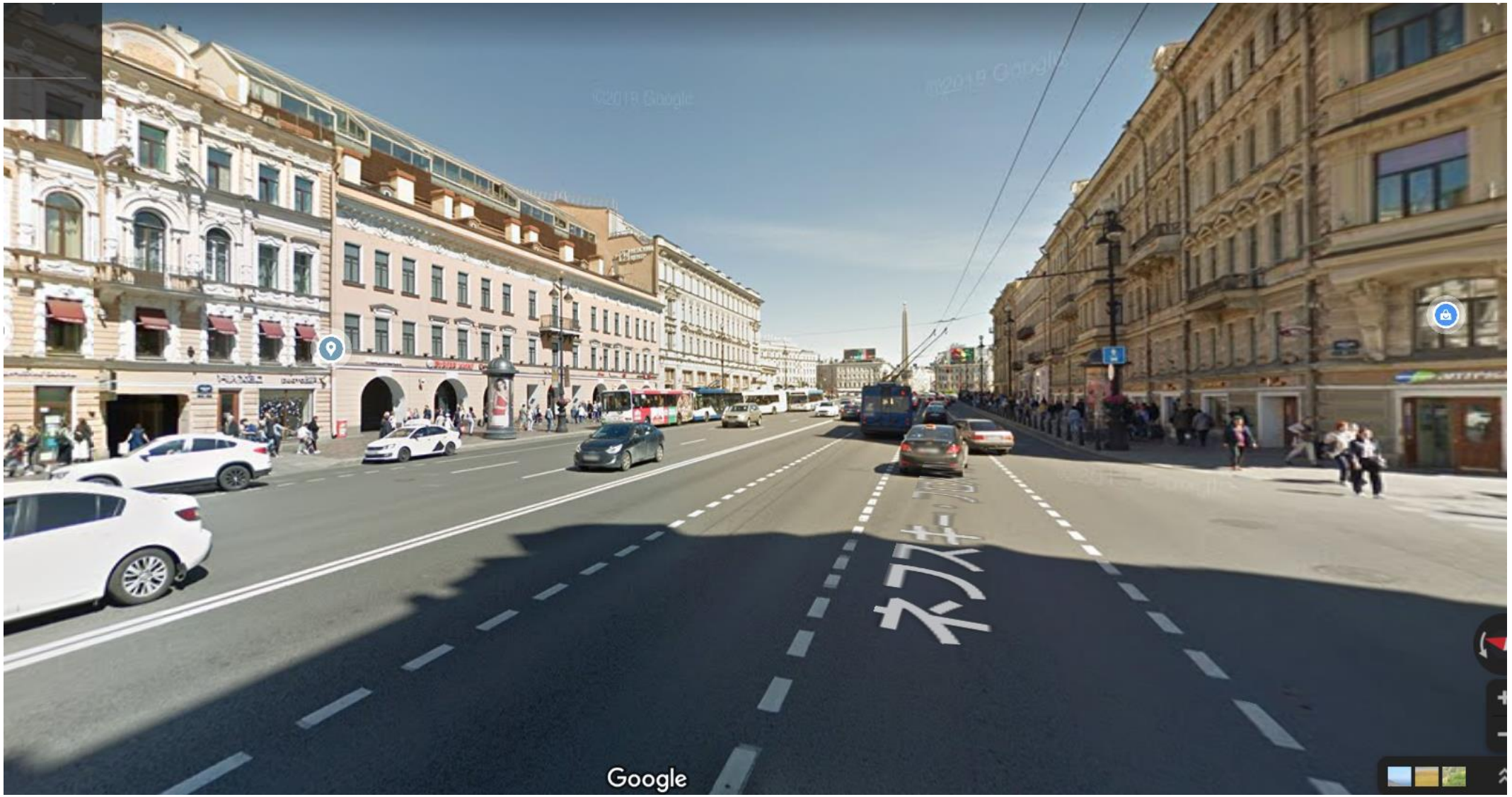
- 晴れた日には中央の丸天井の窓から陽の光が差し込み、内部は明るく照らされる。色彩豊かな聖画や金箔の装飾、色とりどりの大理石が明るく輝いて、地上のものとは思われないほどの美しい光景を目にすることができるだろう。

エフスキー大通り



スモリニ・サボール
Воскресенский
Смольный собор
Шпалерная ул.
シュパレルナヤ・ウーリツァ
サド=パルテル
スモリノヴォ
сад-партер
Смольного
夏の庭園
Летний сад
Chernyshevskaya
Чернышевская
ミタージュ美術館
осударственный
Эрмитаж
血の上の救世主教会
Спас на Крови
ウーリツァ・ネクラソヴァ
ファベルジェ博物館
Музей Фаберже
Nevskiy prospekt
Невский проспект
Gostinyy dvor
Гостиный двор
アプラクシン・ドヴォール
Апраксин двор
Mayakovskaya
Маяковская
Ploschad' Vosstaniya
Площадь Восстания
Moscow
Московский вокзал
TRC ガレリエヤ
ТРЦ Галерея
VLADIMIRSKY
Spasskaya
Спасская
Sennaya ploschad'
Сенная площадь
Ploschad' Aleksandra
Nevskogo 2
ネヴァ川
Novocherkasskaya
Новочеркасск
ストリートビューを表示で
Google

77 ネフスキー・プロスペクト - Google マップ

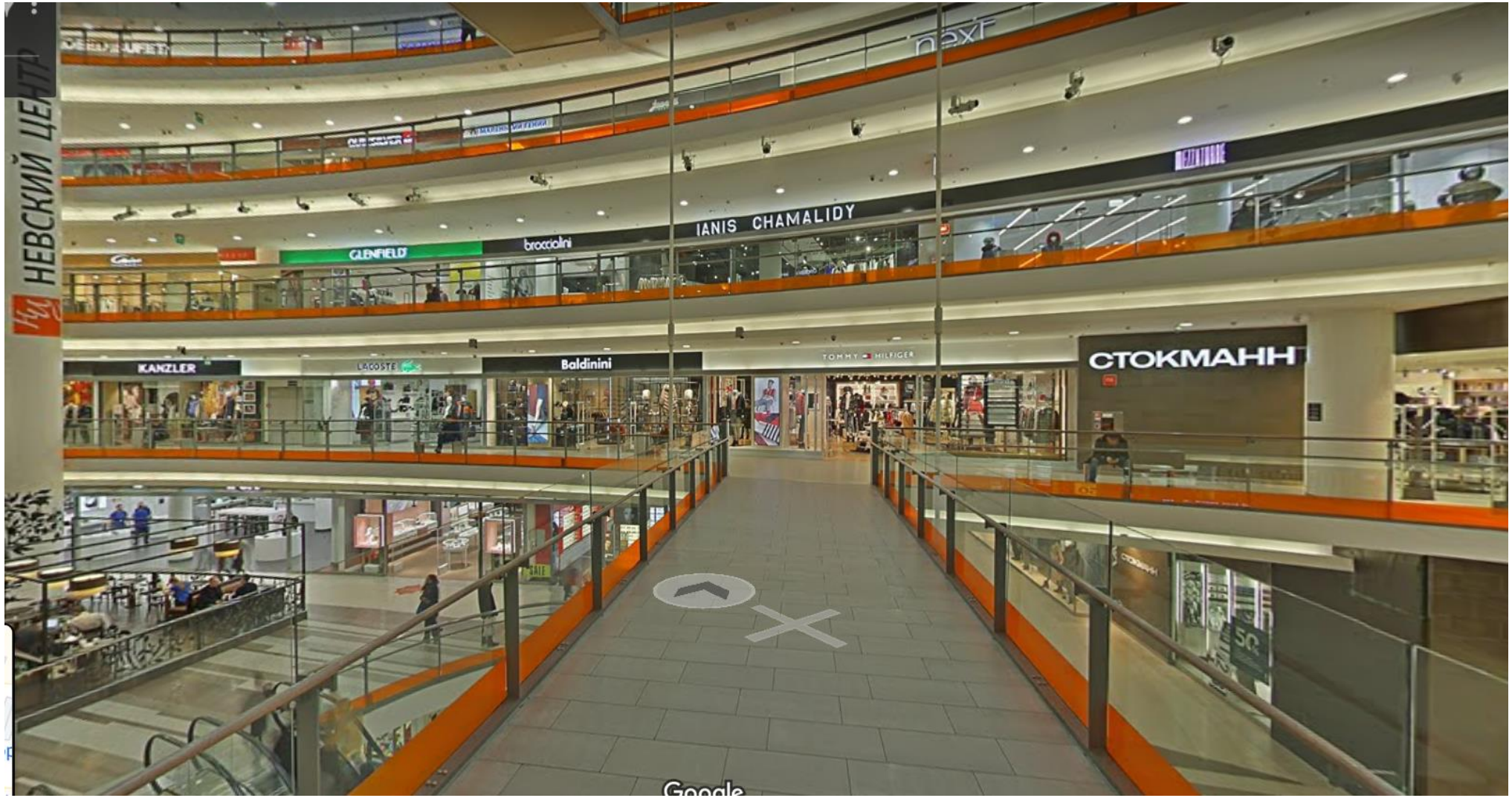


エフスキー大通り

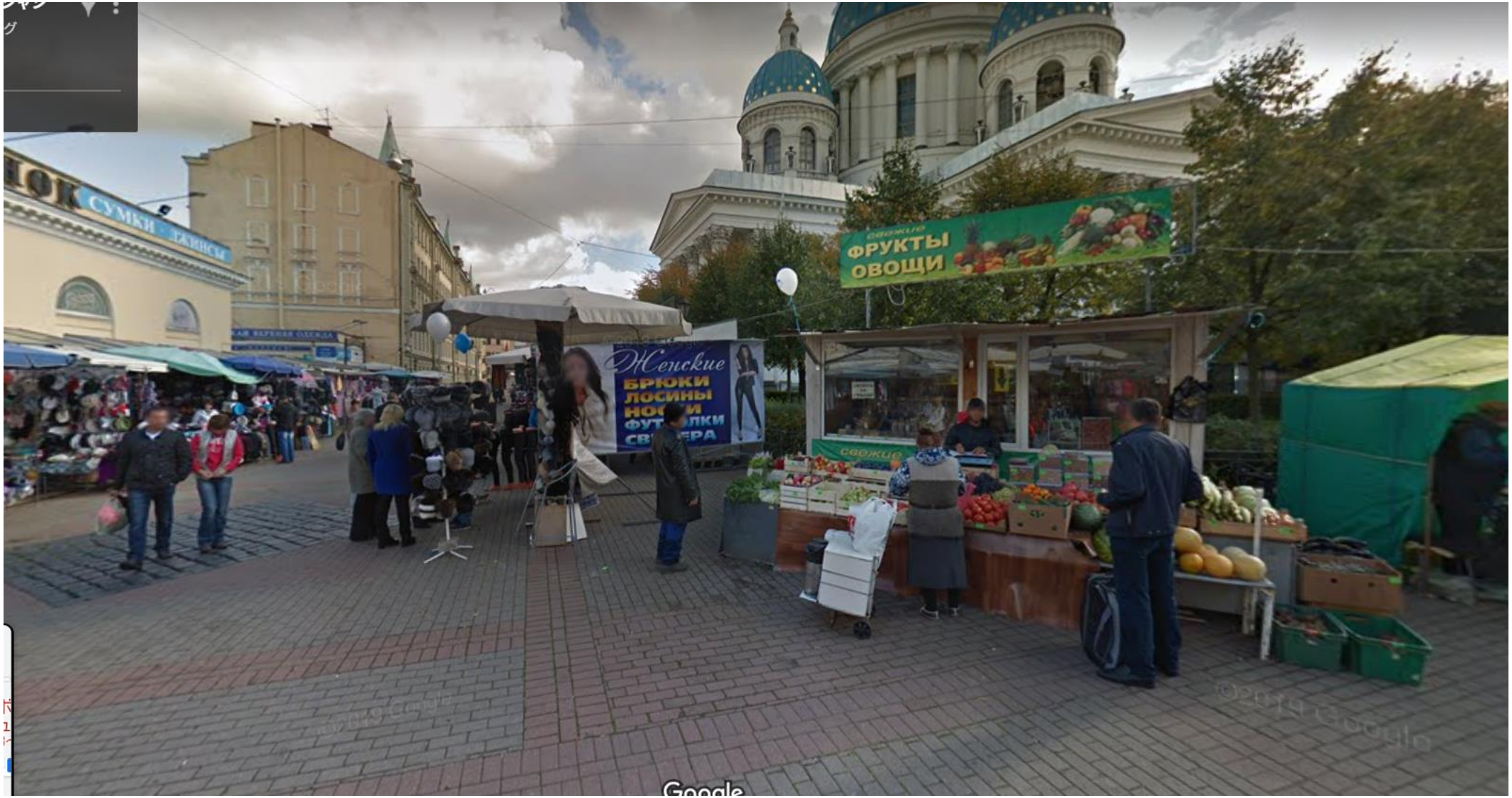
トイッキー大聖堂

[Заказать 3D-панораму, тур 8-904-338-57-42 - Google マップ]

ショッピングセンタ


NEVSKIY CENTRE
next
IANIS CHAMALIDY
GLENFIELD
broccolini
KANZLER
LACOSTE
Baldinini
TOMMY HILFIGER
СТОКМАНН
Google

[トロイツカヤ・プロシャジ - Google マップ]



https://www.travel.co.jp/guide/matome/505/#ct_10

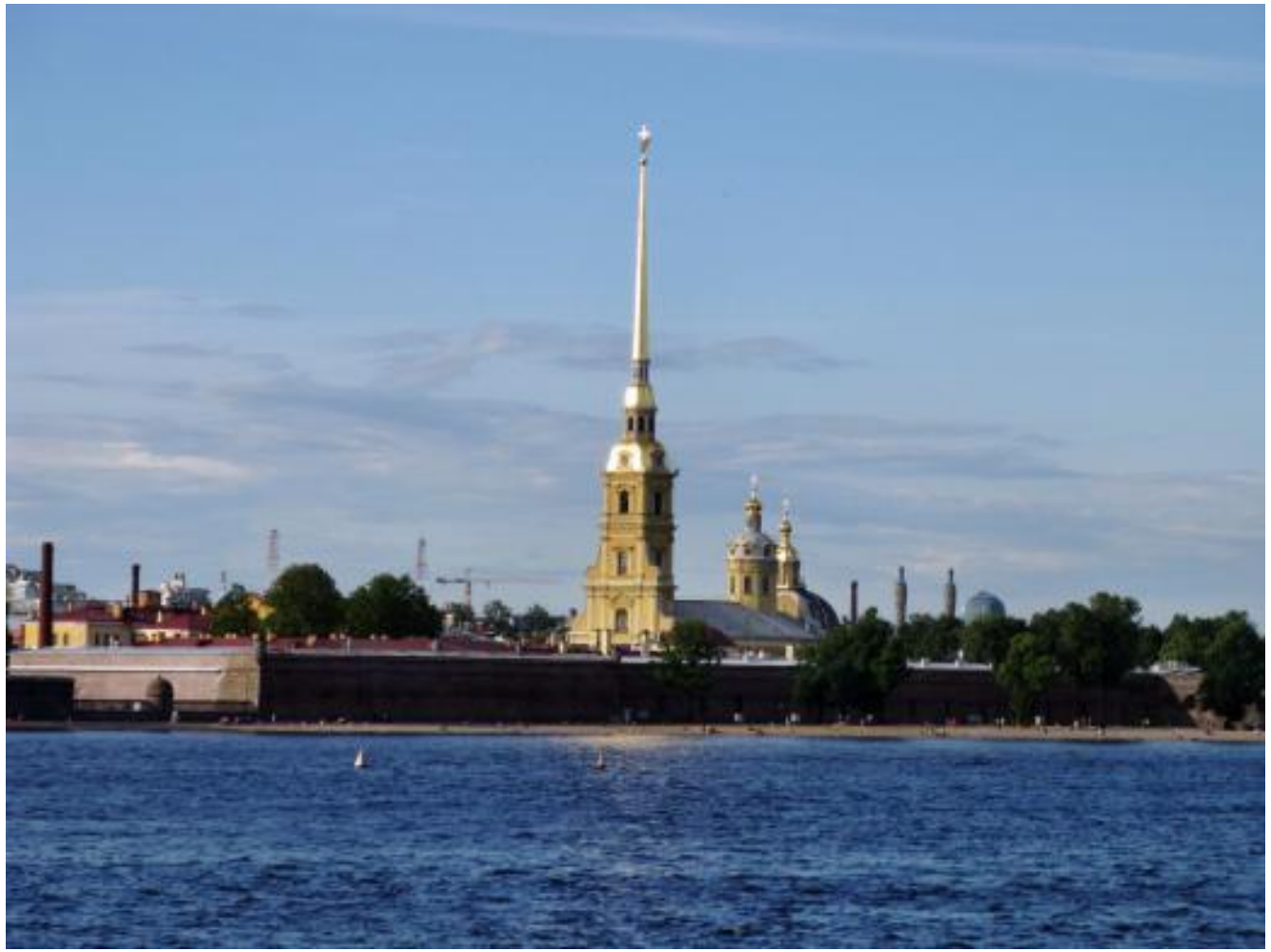
サンクトペトロベルグの名所

1. エルミタージュ美術館
2. 血の上の救世主教会
3. 聖イサアク大聖堂
4. カザン大聖堂
5. ネフスキー大通り
6. トロイツキー大聖堂
7. ペトロパブロフスク要塞
8. ペテルゴフ
9. エカテリーナ宮殿

トロイッキー大聖堂

ペトロパブロフスク要塞

- ピョートル大帝のバルト海進出に伴い築かれた要塞で、周りは厚い壁で囲まれている。
- 中央に立つ、高さ122.5ｍの高さの尖塔を持つ大聖堂は、ピョートル大帝はじめ、歴代の皇帝が眠る霊廟でもある。
- また、要塞の建設を始めた1703年5月16日がペテルブルグ市誕生の日となっている。



ペトロパヴロフスク要塞 - Google マップ

ペトロパヴロフスク要塞

Google - Google マップ

ペテルゴフはロシア・サンクトペテルブルクのペトロドヴォレツォヴヌイ区にある町である

ペテルゴフ

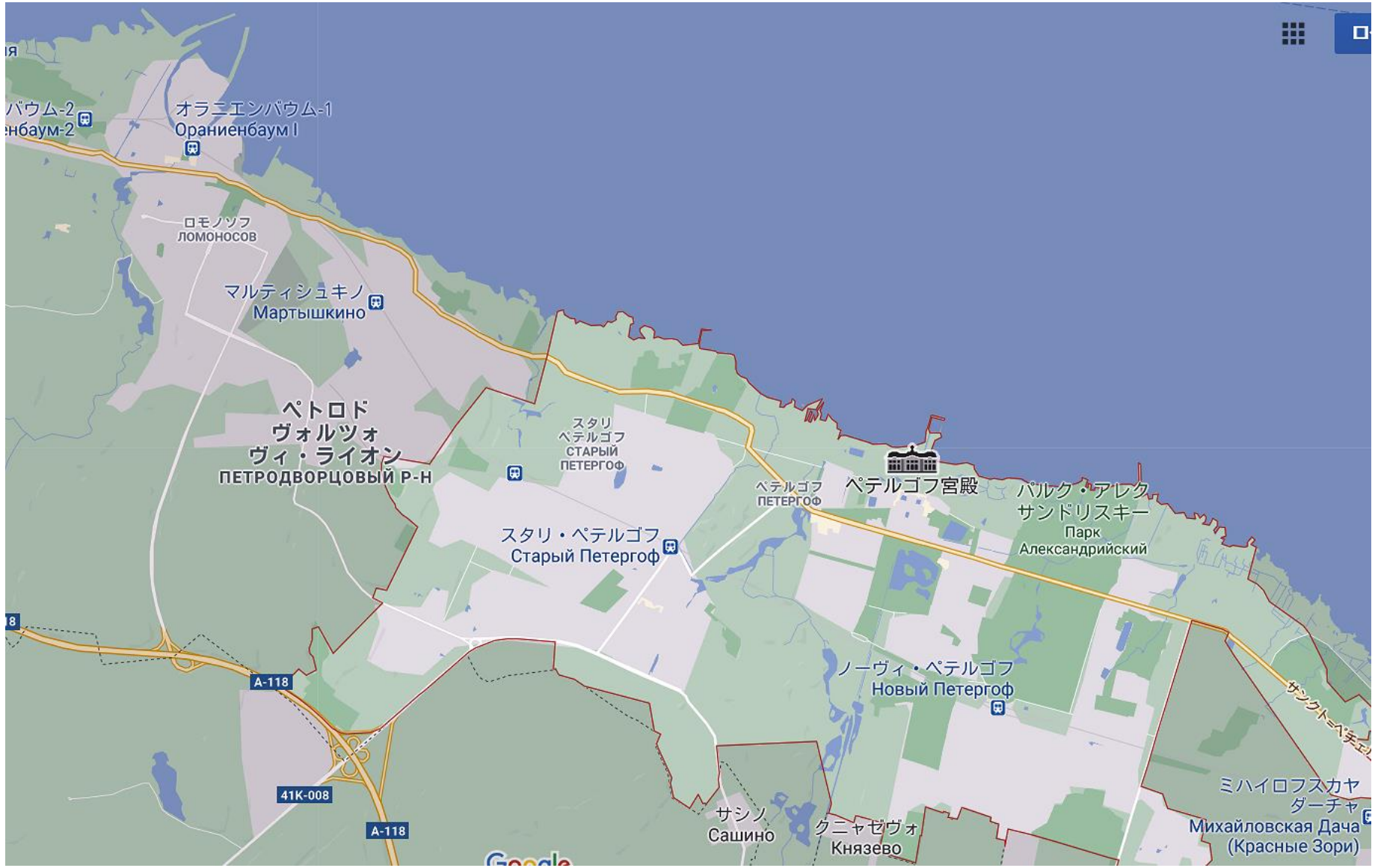
- サンクトペテルブルク中心部から西に約29km離れた、フィンランド湾の南岸に位置している。
- ペテルゴフ宮殿やサンクトペテルブルク大学の2つのキャンパスのうち1つがある。
- サンクトペテルブルクのベッドタウンとなっており人口が増加しているが、歴史的景観を保護するため開発が制限された地区がある。
- 1721年に**宝石と大理石の細工工場が建設**され、大勢の職人が集められた。これは**宮殿の内部を飾り付ける**ためだった。
- 1920年代に工場は時計の装飾を手掛けるようになり、第二次世界大戦後には**時計の製造**の全工程を行うようになった。
- 1961年からは「Rocket」のブランド名で出荷されていた。1981年には7500人の従業員がいたが、現在では生産規模は大幅に縮小されている。

「サンクトペテルブルク歴史地区と関連建造物群」として**世界遺産**に登録

- ペテルゴフ宮殿とその庭園
  - **ペテルゴフ宮殿**（露）（ピョートル大帝の夏の宮殿）と**その噴水庭園**はロシアを代表する観光地のひとつである。
  - ピョートル1世の命により当時の先端技術を投入されて建設されたもので、**ベルサイユ宮殿の影響が見られる**。
- 歴史地区
  - ペテルゴフ町内の**New Peterhof地区には多くの歴史的建造物**が残されている。以下はその代表的なものである。
    - **Cathedral of Peter and Pavel - 1904年に竣工した高さ60mの聖堂**。ペテルゴフ宮殿「上の庭園」入口から徒歩5分。1935年に閉鎖されたが、1985年から1990年にかけて修復された。
    - **New Peterhof駅** - 1857年に竣工。**ロシア最古級の駅舎**である。小規模だがトレインシェッドを備えている

Cathedral of Peter and Pavel

New Peterhof駅


オラニエンバウム-1
Ораниенбаум I
ロモノソフ
ЛОМОНОСОВ
マルティシュキノ
Мартышкино
ペトロド
ヴォルツォ
ヴィ・ライオン
ПЕТРОДВОРЦОВЫЙ Р-Н
スタリ
ペテルゴフ
СТАРЫЙ
ПЕТЕРГОФ
スタリ・ペテルゴフ
Старый Петергоф
ペテルゴフ
ПЕТЕРГОФ
ペテルゴフ宮殿
パルク・アレク
サンドリスキー
Парк
Александрийский
ノーヴィ・ペテルゴフ
Новый Петергоф
A-118
41K-008
A-118
サシノ
Сашино
クニャゼヴォ
Князево
ミハイロフスカヤ
ダーチャ
Михайловская Дача
(Красные Зори)

モンプレジル
ペテルゴフ宮殿
ニージュニー公園
ボリショイ・ペテルゴフスキー・ドヴォレツ
ヴェルフニー・サド
臨時休業
Petergof, Gosudarstvennyy...
プロスペクト・サンクト=ペテルブルグスキー
画像
ストリートビュー
結合写真
360°写真
場所をクリックして画像を表示できます 詳細
コロニスツキー

[Google - Google マップ]

ペテルゴ宮殿

[Google - Google マップ]

[ボリショイ・ドヴォレツ - Google マップ]

宮殿の中

ペテルゴフ宮殿 - Google マップ

default - Google マップ

サボール・ペトラ・イ・パヴラ - Google マップ

サボール・ペトラ・イ・パヴラ

Sven Krüger - Google マップ

エカテリーナ宮殿 - Google マップ

エカテリーナ宮殿

[Eugenio Barolo - Google マップ]

エカテリーナ宮殿

琥珀の間

- 琥珀の間とは、ロシア連邦のサンクトペテルブルクにあるエカテリーナ宮殿内の一室である。
- その名の通り、部屋全体の装飾が琥珀で出来ており、これは世界で唯一のものである。

琥珀の間の成立

- 琥珀の間に使用された装飾は、ロシア西欧化の基礎を築いたピョートル大帝がプロイセン王、フリードリヒ・ヴィルヘルム1世から譲り受けた装飾が元になっている。

- 琥珀の間の原型とも言える「琥珀の部屋」はプロイセンで構想され、制作が開始された。当時のプロイセン王フリードリヒ1世は、琥珀の部屋の装飾、独創性を好んだという。しかし、フリードリヒ1世は琥珀の部屋の完成を見ることなく、この世を去っている。

- その後、琥珀の部屋の装飾はフリードリヒ1世の子、フリードリヒ・ヴィルヘルム1世の時代に、ピョートル大帝が所望し、贈られることとなる。しかし、装飾はすぐに組み立てられることはなく放置された。

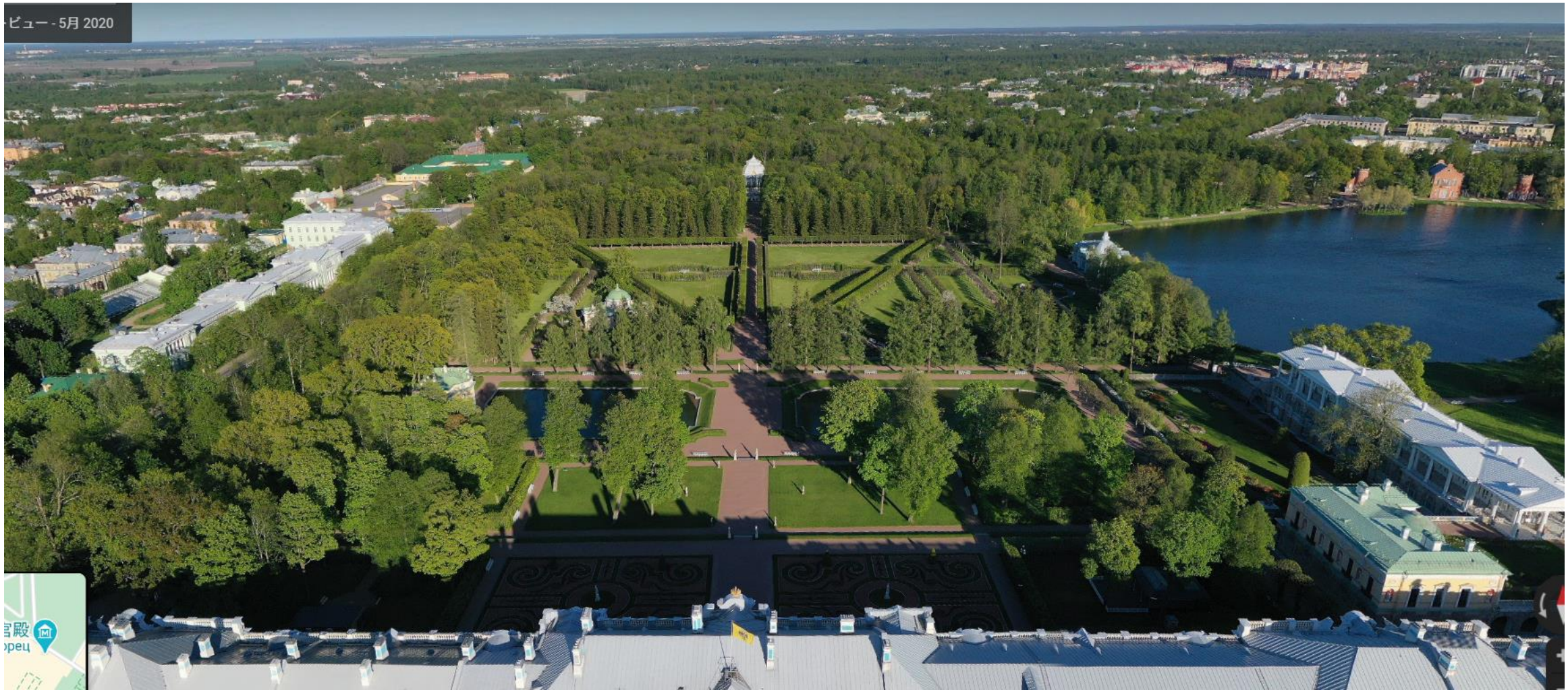
- ピョートル大帝の死後、即位したエリザヴェータは自国文化の更なる西欧化を図ったが、冬宮（現在のエルミタージュ美術館）の改築の際に、放置されていた装飾は宮殿の謁見の間の装飾として、ロシアで作られた装飾と共に利用された。こうして、当初のプロイセンで構想された琥珀の部屋より大きく広い空間となった。この時点で琥珀の間としては完成していたと考えられる。

- その後、琥珀の間は夏宮に移された。完成は1770年、エカチェリーナ2世の時代であった。エカチェリーナ2世は琥珀の間をことのほか愛し、部外者の立ち入りを禁止していたという。

[Summer Palace of Catherina - Google マップ]

ヤンタルナヤ・コムナタ

[Д е н и с Ч а г и н - Google マップ]



インターネット世界旅行
２０２１/2/２６（金）

サンクトペトロブルグ
ロシア

おわり

吉岡　芳夫

本資料は、インターネット上の情報を使って作成しました。

２０２１/3/２６（金）
インターネット世界旅行

サンクトペトロブルグの歴史など

歴史

- 歴代ロシア皇帝は帝都サンクトペテルブルクの整備を続け、1754年には皇帝が冬の時期を過ごす宮殿として冬宮が完成し、ネフスキー大通りが整備され、冬宮を中心とした放射状の街並みが作られた。
- 1757年には演劇アカデミーが創設された。
- エカチェリーナ2世の時代の1762年には冬宮の一角に後のエルミタージュ美術館の元となる展示室が開設された。
- 1800年、サンクトペテルブルクの人口が22万人に達する。フランス皇帝ナポレオン1世の侵攻による1812年の祖国戦争において第2の都市モスクワが壊滅したがサンクトペテルブルクは戦火には見舞われなかった。
- 1837年にはペテルブルクとツァールスコエ・セローとの間にロシア初の鉄道が建設された。1851年にはモスクワとサンクトペテルブルクを結ぶ鉄道が完成した。
- 1869年、人口は67万人になった。1873年当時のサンクトペテルブルクの様子は日本の岩倉使節団の記録である『米欧回覧実記』に詳しく記されている。
- 19世紀末には、聖イサアク大聖堂や血の上の救世主教会など、現在でもサンクトペテルブルクの名所となっている多くの建築物が建設された。また、サンクトペテルブルク市民の経済力も向上したため、ネフスキー大通りを中心に豪奢な建築物が立ち並ぶようになった。
- スモーリヌイ修道院　ソビエト政権独立宣言がここで行われ、首都がモスクワに移されるまでソビエト政府の中枢であった
- ロシア革命では二月革命・十月革命の2つの革命の中心地となり、武装蜂起によるボリシェヴィキの政権奪取やレーニンによる憲法制定会議の解散が起こった。
- その後、ソヴィエト政権は外国からの干渉軍の派遣を恐れ、首都を国境地帯に近いペトログラード（サンクトペテルブルク）からより国境から遠いモスクワに移転。
- 1922年にモスクワが正式に首都と定められたことで、この町は政治の中心では無くなった。

ソビエト連邦時代

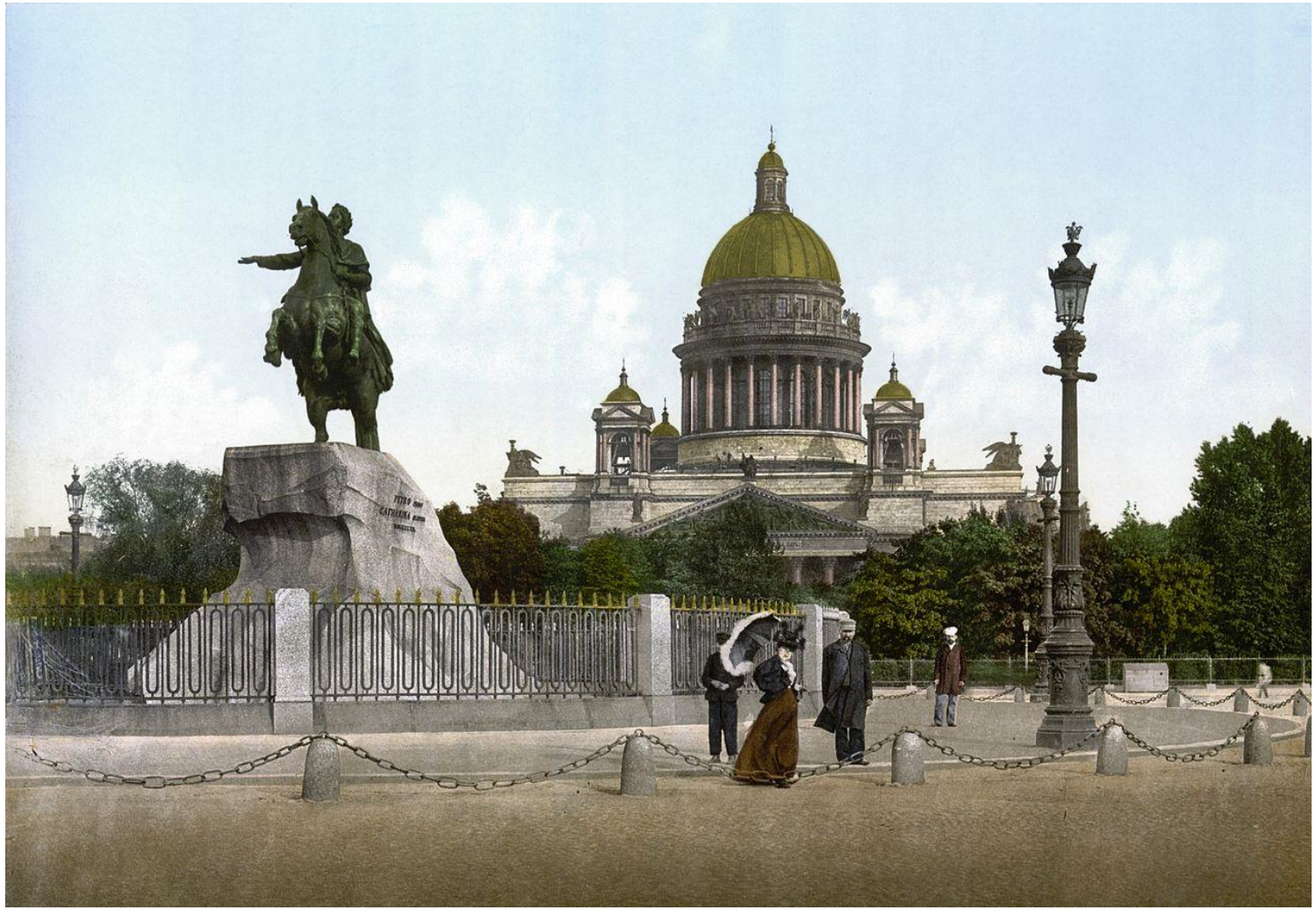
- 1924年にロシア革命の指導者ウラジーミル・レーニンが死去すると、その功績を称えペトログラードは「レーニンの街」の意であるレニングラードに改名された。
- レニングラードはフィンランドとの国境地帯に近いため、有事の際はフィンランド軍によって占領される危険性があった。そこでヨシフ・スターリンはフィンランドに対してレニングラード周辺のフィンランド領の割譲を要求したが、フィンランド政府がこの要求を断固拒否したため、1939年に冬戦争が勃発。
- 当時のソ連軍とフィンランド軍の戦力差は絶望的であり、当初はソ連の圧勝かと思われたが、フィンランドは善戦し、ソ連軍は多大な犠牲を払うこととなった
- しかし結局翌1940年にはレニングラード周辺地域の割譲をもって講和がなされ（モスクワ講和条約）、この戦争が中立的であったフィンランドの枢軸陣営への参加を招いた。
- 第二次世界大戦中は、フィンランドとドイツ軍による約900日、足掛け4年にもわたる包囲攻撃を受けた（レニングラード包囲戦）。
- 枢軸軍はレニングラード市民の戦意を挫くため街と外部の連絡を徹底的に絶ち、物資が途絶えた市中では飢餓により市民・軍人に多数の死者が発生したが、ソ連側はこの苦境を耐え抜き、最後までにレニングラードがドイツ・フィンランド軍の占領を受けることはなかった。
- その功績により、レニングラードは英雄都市の称号を与えられた。
- 戦後もレニングラードはソ連第二の都市として存在感を持っており、その歴史的経緯や地理的要因から首都であり最大都市のモスクワとは違った文化や風土を維持した。
- また、レニングラードの共産党第一書記になることはソビエトの政治体制の中で重要な位置を占めることと同義であり、クレムリンでの権力闘争でも大きな影響力を持つことになった。
- なお、ロシア革命以降でレニングラード（サンクトペテルブルク）出身者がロシアのトップに登り詰めたのはソ連崩壊後の2000年にロシア大統領に選ばれたウラジーミル・プーチンが初めてである。

サンクトペテルブルクの気候 [隠す]													
月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
最高気温記録 °C (°F)	8.3 (46.9)	10.2 (50.4)	14.9 (58.8)	25.3 (77.5)	30.9 (87.6)	34.6 (94.3)	35.3 (95.5)	37.1 (98.8)	30.4 (86.7)	21.0 (69.8)	12.3 (54.1)	10.9 (51.6)	37.1 (98.8)
平均最高気温 °C (°F)	−3.1 (26.4)	−3.1 (26.4)	2.0 (35.6)	9.3 (48.7)	16.0 (60.8)	20.0 (68)	23.0 (73.4)	20.8 (69.4)	15.0 (59)	8.6 (47.5)	2.0 (35.6)	−1.5 (29.3)	9.1 (48.4)
日平均気温 °C (°F)	−5.5 (22.1)	−5.8 (21.6)	−1.3 (29.7)	5.1 (41.2)	11.3 (52.3)	15.7 (60.3)	18.8 (65.8)	16.9 (62.4)	11.6 (52.9)	6.2 (43.2)	0.1 (32.2)	−3.7 (25.3)	5.78 (42.42)
平均最低気温 °C (°F)	−8.0 (17.6)	−8.5 (16.7)	−4.2 (24.4)	1.5 (34.7)	7.0 (44.6)	11.7 (53.1)	15.0 (59)	13.5 (56.3)	8.8 (47.8)	4.0 (39.2)	−1.8 (28.8)	−6.1 (21)	2.7 (36.9)
最低気温記録 °C (°F)	−35.9 (−32.6)	−35.2 (−31.4)	−29.9 (−21.8)	−21.8 (−7.2)	−6.6 (20.1)	0.1 (32.2)	4.9 (40.8)	1.3 (34.3)	−3.1 (26.4)	−12.9 (8.8)	−22.2 (−8)	−34.4 (−29.9)	−35.9 (−32.6)
降水量 mm (inch)	44 (1.73)	33 (1.3)	37 (1.46)	31 (1.22)	46 (1.81)	71 (2.8)	79 (3.11)	83 (3.27)	64 (2.52)	67 (2.64)	56 (2.2)	51 (2.01)	662 (26.06)
平均月間日照時間	21.7	53.2	124.0	180.0	260.4	276.0	266.6	213.9	129.0	71.3	24.0	12.4	1,632.5
出典 *1: Pogoda.ru.net*[13]													
出典 *2: HKO (sunshine hours)*[14]													

赤い帆

- 赤い帆は、ロシアの大都市サンクトペテルブルクで毎年6月の夏至のころに「白夜祭」として行われる祭りである。
- 冬宮殿前の宮殿広場に巨大な赤い帆が飾られて、ネフスキー大通りなどの街中にも赤い帆のシンボルマークが飾られて、音楽など様々な行事が行われ、最近は100万人の観光客であふれるといわれている。
- この祭りの歴史はそう古くなく、第2次世界大戦後に高校卒業生がアレクサンドル・グリーンの童話「赤い帆」（1922年）にちなんで卒業を祝う行事を行なって以来という。

聖イサアク大聖堂とピョートル大帝像



ミハイロフスキー城

ミハイロフスキー城の建物は、シンメトリカルな全体に対して、大小様々な形の部屋を配し非対称的な構成となっている。モイカ川に面する北側ファサードは大理石の列柱が低く抑えられ、オープンテラスが設けられている。北側入り口にはヘラクレス像とフローラ像が設置され調和が取れた空間を構成している。
東西には尖塔が立ち、東側に礼拝堂、西側に楕円形ホールが造られた。
皮肉なことにパーヴェル1世は、ミハイロフスキー城を居城と定めて移転した40日後に、反パーヴェルの貴族、将校らによって絞殺され、遺骸は踏みつけにされた。パーヴェルの跡を継いだのは、パーヴェルの長男でエカテリーナ2世の寵愛を受けたアレクサンドル1世である。アレクサンドルは、ミハイロフスキー城を暗殺犯の一人ニコライ・ズーボフに下賜した。
パーヴェルの死後、帝室一家は冬宮に移り、ミハイロフスキー城は、20年以上の長きに渡り放置された。

[ミハイロフスキー城 - Google マップ]

ペトロパヴロフスク要塞

1700年に始まった大北方戦争の過程でスウェーデンから土地を防衛するためにピョートル1世の命令で建設された。

星型要塞の理論に基づいて設計され、河口付近のザーヤチ島の形状を生かして構築された。

要塞の中央に首座使徒ペトル・パウェル大聖堂（ペトロパヴロフスキー大聖堂）があり、ピョートル1世が葬られている。

大聖堂はロシアの歴代皇帝の埋葬地となり、帝政ロシア時代は最も神聖な場所とされた。

ロシア革命時、冬宮前に押し寄せる民衆